

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年1月6日(2022.1.6)

【公開番号】特開2021-142366(P2021-142366A)

【公開日】令和3年9月24日(2021.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2021-045

【出願番号】特願2021-99806(P2021-99806)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 8

【手続補正書】

【提出日】令和3年11月20日(2021.11.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者が操作可能な位置に設けられて、所定の操作が可能な操作部と、

表示部と、

前記操作部の操作量に応じた強度で遊技媒体を発射可能な発射手段と、

前記操作部の操作量が所定量である場合に前記発射手段から発射された遊技媒体が進入

可能な位置に形成された、遊技媒体が進入可能な進入口と、

該進入口に進入した遊技媒体を検出可能な検出部と、

前記表示部の表示内容を所定の態様とする状態移行手段と、を備え、

前記状態移行手段は、前記所定の態様としての、遊技機が初期化された場合に表示される初期画面の表示、初期化若しくはリセットの文字列の表示、又は、画面が真っ暗な表示に、前記表示部の表示内容を移行させるものであり、

前記操作部に対して、操作前より遊技球が流下する流路が遊技領域の入口より遠い右側の通路となるように遊技球の流路を変更する所定の操作が行われることに基づいて前記検出部により遊技媒体を検出させることができあり、当該検出部による遊技球の検出を契機として、前記状態移行手段が前記表示部の表示内容を前記所定の態様とすることが可能に構成されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明に係る遊技機は、上記の課題を解決するために、

遊技者が操作可能な位置に設けられて、所定の操作が可能な操作部と、

表示部と、

前記操作部の操作量に応じた強度で遊技媒体を発射可能な発射手段と、

前記操作部の操作量が所定量である場合に前記発射手段から発射された遊技媒体が進入

可能な位置に形成された、遊技媒体が進入可能な進入口と、

該進入口に進入した遊技媒体を検出可能な検出部と、

前記表示部の表示内容を所定の態様とする状態移行手段と、を備え、

前記状態移行手段は、前記所定の態様としての、遊技機が初期化された場合に表示される初期画面の表示、初期化若しくはリセットの文字列の表示、又は、画面が真っ暗な表示に、前記表示部の表示内容を移行させるものであり、

前記操作部に対して、操作前より遊技球が流下する流路が遊技領域の入口より遠い右側の通路となるように遊技球の流路を変更する所定の操作が行われることに基づいて前記検出部により遊技媒体を検出させることが可能であり、当該検出部による遊技球の検出を契機として、前記状態移行手段が前記表示部の表示内容を前記所定の態様とすることが可能に構成されていることを特徴としている。